

2022年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年10月6日

上場会社名 株式会社コックス 上場取引所 東
 コード番号 9876 URL <http://www.cox-online.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 兼 デジタル推進本部長 (氏名)三宅 英木
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 財経・物流本部長 (氏名)高橋 英伸 (TEL)03(5821)6070(代)
 四半期報告書提出予定日 2021年10月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第2四半期の連結業績 (2021年3月1日～2021年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	6,118	△21.7	△955	—	△931	—	△986	—
2021年2月期第2四半期	7,815	△9.1	△329	—	△245	—	867	—

(注) 包括利益 2022年2月期第2四半期 △1,030百万円 (—%) 2021年2月期第2四半期 △410百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2022年2月期第2四半期	円 銭 △35.74	円 銭 —
2021年2月期第2四半期	31.44	31.42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2022年2月期第2四半期	百万円 11,814	百万円 6,363	% 53.8
2021年2月期	12,698	7,393	58.2

(参考) 自己資本 2022年2月期第2四半期 6,359百万円 2021年2月期 7,389百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2021年2月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2022年2月期	—	—	—	—	—
2022年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想 (2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	13,400	△17.8	△1,200	—	△1,180	—	△1,700	—	△61.57	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名)、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年2月期2Q	27,711,028株	2021年2月期	27,711,028株
2022年2月期2Q	99,640株	2021年2月期	105,576株
2022年2月期2Q	27,607,292株	2021年2月期2Q	27,603,799株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
3. その他	11
継続企業の前提に関する重要事象等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、断続的に緊急事態宣言が発出され、その対象地域は8月末日において21都道府県まで拡大する中で景況感はさらに悪化し、依然として先行きが不透明な状況が続いています。

当社においても、緊急事態宣言が発出されている都道府県に出店している商業施設について、土日休業や営業時間の短縮、また不要不急の外出自粛の影響による客数減少等、厳しい状況が続きました。

当社はこのような厳しい環境下において、5月25日の株主総会において、新体制がスタートし、新たに「Beautiful Life Innovator」企業へと生まれ変わることを目指し、『新生活提案力』を武器として変化と進化を続けるため、事業構造改革を行い、再成長に向けた取り組みを開始いたしました。

当第2四半期連結累計期間においては、第1四半期に既存店4店舗において、ライフスタイル雑貨を導入した「ライフスタイルショップ」の実験、更に7月30日には、東小金井店をLBCの雑貨・グリーン・香りのカテゴリーとikkaのアパレルを融合した「ライフスタイルショップ」としてリニューアルオープンいたしました。

商品面におきましては、景況感の厳しい状況のもと7月、8月の仕入計画を見直すことで、在庫コントロールを行う一方、バーゲン時期のプロモーションを見直した結果、売上総利益率は4.3ポイント改善いたしました。

ECの売上拡大に向けた取り組みとしましては、店舗会員拡大を図るとともにECサイトへの送客の取り組み強化、店舗スタッフのコーディネート投稿の推進などによりECサイトへの訪問客数増加の取り組みを図って参りました。

また、後方業務の効率化を図るため、SmartHR（労務管理システム）導入による人事業務の省力化を進めて参りました。

店舗展開におきましては、4店舗を閉店したことにより、当第2四半期末の店舗数は、208店舗となりました。

一方、販売費及び一般管理費は、前期第2四半期連結累計期間に比べ営業店舗数の増加があったことから、人件費、地代家賃をはじめとする設備費について増加となり、前年同期で12百万円増加、前年同期比100.3%となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は売上高は前年比21.7%減少の61億18百万円（前年同期78億15百万円）、営業損失は9億55百万円（前年同期営業損失3億29百万円）となりました。

経常損失9億31百万円（前年同期経常損失2億45百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失9億86百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純利益8億67百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ8億83百万円減少し、118億14百万円となりました。増減の主な内容は、現金及び預金が2億90百万円、たな卸資産が3億78百万円減少したこと等によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1億47百万円増加し、54億51百万円となりました。増減の主な内容は、短期借入金が19億円増加し、未払法人税等が3億76百万円、支払手形及び買掛金が3億66百万円、電子記録債務が3億39百万円、未払消費税が3億23百万円、減少したこと等によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ10億30百万円減少し、63億63百万円となりました。増減の主な内容は、利益剰余金が9億86百万円減少したこと等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ2億90百万円減少し、43億39百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果減少した資金は、21億31百万円（前年同四半期は5億7百万円の増加）となりました。その主な増加の内訳は、たな卸資産の減少額3億78百万円、売上債権の減少額1億38百万円等によるものです。主な減少の内訳は、税金等調整前四半期純損失9億28百万円、仕入債務の減少額7億5百万円、未払消費税の減少3億23百万円、法人税等の支払2億89百万円等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、65百万円（前年同四半期は19億19百万円の増加）となりました。その増減の内訳は、差入保証金の回収による収入1億3百万円、無形固定資産の取得による支出95百万円、有形固定資産の取得による支出23百万円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果増加した資金は、短期借入金の純増19億円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績動向を踏まえ、2021年4月9日に公表いたしました2022年2月期通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては本日(2021年10月6日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,629,720	4,339,106
受取手形及び売掛金	35,808	17,199
売上預け金	506,390	375,901
たな卸資産	2,197,718	1,819,717
未収入金	118,548	94,613
その他	92,214	96,583
貸倒引当金	△238	△159
流動資産合計	7,580,162	6,742,963
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	142,040	132,379
その他（純額）	13,042	14,251
有形固定資産合計	155,082	146,630
無形固定資産		
無形固定資産	33,545	125,457
投資その他の資産		
投資有価証券	2,882,842	2,797,760
差入保証金	2,036,612	1,985,069
その他	11,588	18,070
貸倒引当金	△1,827	△1,781
投資その他の資産合計	4,929,216	4,799,119
固定資産合計	5,117,844	5,071,207
資産合計	12,698,007	11,814,171

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	636,620	270,473
電子記録債務	1,045,551	706,340
短期借入金	—	1,900,000
未払金	313,000	236,088
未払法人税等	493,631	117,080
未払消費税等	392,526	68,847
未払費用	708,815	596,824
預り金	228,021	127,545
賞与引当金	14,042	32,984
役員業績報酬引当金	12,700	9,666
店舗閉鎖損失引当金	30,942	23,284
資産除去債務	20,503	44,965
ポイント引当金	20,300	12,880
その他	24,295	10,428
流動負債合計	3,940,951	4,157,409
固定負債		
退職給付に係る負債	289,503	266,169
繰延税金負債	421,345	395,395
資産除去債務	652,271	632,103
固定負債合計	1,363,120	1,293,668
負債合計	5,304,071	5,451,077
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,503,148	4,503,148
資本剰余金	5,355,295	5,354,282
利益剰余金	△3,461,864	△4,448,532
自己株式	△45,119	△42,566
株主資本合計	6,351,460	5,366,332
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,003,990	944,858
為替換算調整勘定	33,094	43,429
退職給付に係る調整累計額	458	5,086
その他の包括利益累計額合計	1,037,542	993,374
新株予約権	4,933	3,387
純資産合計	7,393,935	6,363,093
負債純資産合計	12,698,007	11,814,171

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年8月31日)
売上高	7,815,216	6,118,452
売上原価	3,781,811	2,698,271
売上総利益	4,033,404	3,420,180
販売費及び一般管理費	4,362,523	4,375,301
営業損失(△)	△329,119	△955,121
営業外収益		
受取利息	221	81
受取配当金	84,309	35,363
為替差益	642	—
雑収入	1,126	1,791
営業外収益合計	86,299	37,237
営業外費用		
支払利息	1,785	10,361
為替差損	—	3,078
雑損失	908	576
営業外費用合計	2,694	14,017
経常損失(△)	△245,514	△931,901
特別利益		
助成金収入	—	24,862
有価証券売却益	1,302,033	—
店舗家賃免除益	81,008	—
雇用調整助成金	72,085	9,475
特別利益合計	1,455,127	34,338
特別損失		
災害による損失	—	18,005
減損損失	21,284	4,099
臨時休業等関連損失	76,088	8,548
特別損失合計	97,373	30,653
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,112,240	△928,216
法人税、住民税及び事業税	244,394	58,451
法人税等合計	244,394	58,451
四半期純利益又は四半期純損失(△)	867,845	△986,668
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	867,845	△986,668

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	867,845	△986,668
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,290,393	△59,131
為替換算調整勘定	△3,576	10,335
退職給付に係る調整額	15,351	4,628
その他の包括利益合計	△1,278,618	△44,168
四半期包括利益	△410,773	△1,030,836
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△410,773	△1,030,836
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,112,240	△928,216
減価償却費	26,948	25,248
減損損失	21,284	4,099
災害による損失	—	18,005
賞与引当金の増減額(△は減少)	19,704	18,942
役員業績報酬引当金の増減額(△は減少)	6,350	△3,033
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	—	△7,657
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△16,410	△18,705
貸倒引当金の増減額(△は減少)	54	△124
ポイント引当金の増減額(△は減少)	3,450	△7,420
受取利息及び受取配当金	△84,530	△35,445
支払利息	1,785	10,361
為替差損益(△は益)	△642	3,078
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,302,033	—
売上債権の増減額(△は増加)	△262,555	138,348
たな卸資産の増減額(△は増加)	△120,359	378,000
仕入債務の増減額(△は減少)	719,400	△705,357
未払費用の増減額(△は減少)	45,449	△111,990
未払消費税等の増減額(△は減少)	118,157	△323,678
預り金の増減額(△は減少)	31,682	△100,476
未払事業税の増減額(△は減少)	105,045	△150,798
その他	29,254	△68,018
小計	454,276	△1,864,838
利息及び配当金の受取額	84,991	35,445
利息の支払額	△8,458	△12,718
法人税等の支払額	△23,644	△289,633
営業活動によるキャッシュ・フロー	507,164	△2,131,744
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△31,534	△23,334
無形固定資産の取得による支出	△9,470	△95,760
投資有価証券の売却による収入	1,917,865	—
差入保証金の差入による支出	△4,952	△11,046
差入保証金の回収による収入	65,438	103,031
その他	△17,842	△38,560
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,919,504	△65,669
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,900,000	1,900,000
自己株式の取得による支出	—	△11
ストックオプションの行使による収入	4	6
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,900,004	1,899,994
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,763	6,805
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,323,910	△290,614
現金及び現金同等物の期首残高	1,990,478	4,629,720
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,314,389	4,339,106

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において、営業キャッシュ・フローがプラスに転じましたが、過去6期連続営業損失を計上しております。

当第2四半期連結累計期間においても、継続して9億55百万円の営業損失を計上しております。これらの状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在しております

しかしながら、新たに「Beautiful Life Innovator」企業へと生まれ変わることを目指し、「既存事業の収益構造改革」「EC事業の推進・拡大」に重点的に取り組むことで収益性の改善を図り、キャッシュ・フローの改善を図ってまいります。

また、資金面では、当第2四半期連結会計期間の末日現在において、現金及び現金同等物（資金）の残高は43億39百万円となっており、当面の間、運転資金及び投資資金を十分賄える状況であることから資金繰りにおいて重要な懸念はないと判断しております。